

平成21年度 事業報告

1. 総会・理事会

1. 1 第21回通常総会

平成21年5月29日 虎ノ門パストラルに於いて開催し、次の議案を審議し承認された。

- (1) 第1号議案 平成20年度事業報告の件
- (2) 第2号議案 平成20年度決算報告の件
- (3) 第3号議案 役員選任の件
- (4) 第4号議案 平成21年度事業計画(案)の件
- (5) 第5号議案 平成21年度予算(案)の件
- (6) 第6号議案 その他

総会終了後、協会設立20周年を記念して、協会活動推進功績者の表彰式、記念講演、記念懇親会を実施し、当協会の「20年のあゆみ」を配布した。

1. 2 理事会

平成21年5月25日 第21回通常総会提出議案を審議決定した。
運営委員会委員を選任した。
平成21年度各委員会の設置等を審議した。

平成21年12月3日 上半期の事業報告及び会計報告について了承された。
平成22年度の暫定予算について了承された。

1. 3 その他

会員数は平成22年3月末日現在、正会員25社、賛助会員4社である。

2. 委員会

平成21年度は、公益事業活動の充実、資格制度の活用推進、内水排除施設技術の向上を重点項目として、操作技術向上、技術講習・研修、内水排除施設を取り巻く諸課題への対応等について委員会等により事業を推進した。

各委員会の活動は、以下のとおりである。

運営委員会

- (1) 理事会及び総会に提出する案件の企画・立案
- (2) その他、協会運営に関する諸課題の審議

運営幹事会

- (1) 運営委員会に係る審議事項の企画・立案
- (2) 各委員会に関連、共通する業務の企画・調整
- (3) その他、協会の事業活動に係る審議

協会20周年記念事業としての「河川ポンプ施設総覧2010」刊行に向け、編集委員会を設置して編集を行った。

2. 1 広報研修委員会

- (1) 機関誌「ぽんぷ」の発行

「ぽんぷ」42号、43号を発行し、国土交通省をはじめ地方公共団体、関係法人、会員等広く関係者に配布し、協会活動の広報に努めた。

- (2) 技術図書の発行

「揚排水機場設備点検・整備指針(案)同解説」を平成22年1月に発行した。

- (3) ポンプ施設管理技術講習会の開催

ポンプ施設管理技術向上のための講習会を9月に全国5会場で実施した。

受講者数 134名

- (4) 技術講話会の実施

ポンプ施設に関わる話題等をテーマに外部講師による講話会を実施した。

平成21年5月29日

「入札契約制度に関わる最近の話題について」

平成22年2月25日

「関東地方整備局における総合評価方式等の取組みについて」

(5) 技術研修会の実施

平成21年度技術研修会を平成21年10月20日、君津市（新日本製鐵株式会社君津製鉄所）において実施した。

2. 2 技術開発委員会

(1) 最近導入された技術の評価・検証

技術開発委員会を5回開催し、この20年間に導入された代表的な技術のうち、ガスタービン、セラミックス軸受等について適用性等の検討のためにライフサイクルコストを算出し、従来技術との比較を行った。また、情勢変化にともなう技術基準等の見直し項目のとりまとめを行った。

(2) ポンプ技術に関する検討課題の抽出と解決に向けての検討会の実施

ポンプ技術検討会を2回開催し延命化に向けた維持管理、効率的で合理的な工事を実施するうえでの技術的課題への対応策の検討を行った。

(3) 行政との意見交換会の実施

ポンプ技術検討会で検討した課題や対応策を主なテーマとして、行政との意見交換会を実施した。

2. 3 規格調査委員会

(1) 「揚排水機場設備点検・整備指針（案）同解説」の編集

国土交通省が制定した「揚排水機場設備点検・整備指針（案）」（平成20年6月）について、効果的・効率的な設備管理の方策が示されている「河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」（平成20年3月）の内容を反映して解説した上記技術図書編集を行った。

(2) 「揚排水ポンプ設備技術基準（案）同解説」及び「揚排水ポンプ設備設計指針（案）同解説」の技術内容検討

平成13年に改訂された「揚排水ポンプ設備技術基準(案)同解説」及び「揚排水ポンプ設備設計指針(案)同解説」は改訂後の年数が経過しているため、最新の技術動向、情報を収集し、次期改訂に備えて技術内容の検討を行った。

(3) 機械設備電子納品要領等の検討

「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」、「CAD製図基準（案）機械設備工事編」等の電子納品の運用に関する意見照会について、アンケートにより抽出・整理した意見を提出した。

(4) 海外における技術発表及びポンプ設備技術調査

台湾との総合治水技術交流検討会（平成21年11月4日 台北市）において、我が国の河川ポンプ施設における技術動向、運用維持管理技術についての研究成果を発表するとともに、現地のポンプ施設を調査し意見交換を行った。

期 間：平成21年11月1日～11月5日（発表、現地調査、意見交換）
平成22年1月6日～1月8日（現地調査、意見交換等）

調査等の結果は、調査報告としてまとめるとともに機関誌「ぽんぷ」43号に掲載した。

また、平成22年度の海外での研究成果発表の準備を行った。

2. 4 維持管理委員会

(1) 維持管理情報の具体的活用方法の検討

今後、構築される維持管理情報のデータベースを活用した設備の維持管理に際し、モニタリングするデータ項目と計測手法等の留意点の検討を行った。

(2) 「河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル(案)」に基づく診断手法の検討

上記マニュアルの考え方を反映し、これからの総合診断に適用するため、設備の管理レベル、健全度評価、機能適合性評価で構成する「総合診断評価表（案）」をとりまとめた。

(3) 排水機場の総合診断の実施

1 機場の総合診断を行った。

(4) 排水機場操作員の操作技術向上策の検討

操作技術向上検討会を実施し、排水機場操作員や管理者と操作・管理の実務上の問題点等についての意見交換を行った。

実施場所	出席者
東北地方整備局 北上川下流河川事務所	師山排水機場他8 機場 操作員9名、管理者他

2. 5 資格制度委員会

(1) 平成21年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施

ポンプ施設管理技術者資格試験の実施に関する検討を行った。

試験は平成21年10月25日（日）に札幌、東京、名古屋、大阪、高松、福岡の全国6会場において実施した。

受験者数 250名（1級139名、2級111名）

合格者数 145名（1級77名、2級68名）

(2) 平成21年度ポンプ施設管理技術者更新講習の実施

平成21年5月に「ポンプ施設管理技術者更新講習テキスト2009」を使用して札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の全国9カ所で更新講習を実施した。

なお、本講習は、継続学習制度の学習プログラムとしての認定を受けている。

受講者数 940名

(3) ポンプ施設管理技術者に関する調査、広報

ポンプ施設管理技術者の活用事例を調査し、全国の代表的な自治体を訪問してポンプ施設管理技術者資格制度の主旨、活用効果や総合評価方式における技術者評価事例等の説明を行い、資格者の活用を広報した。

3. 資格審査関係委員会

3. 1 資格審査委員会

以下について審議した。

(1) 資格試験（更新講習を含む）の実施計画

(2) 受験資格、試験問題及び採点基準、試験の科目及び基準、出題基準、合格基準、試験実施に係わる細則、試験監督要領等

3. 2 資格試験委員会

試験問題作成、採点基準等について審議した。

委員会等開催状況

各委員会関係の会議開催状況は、下記のとおりである。

委員会名	回数
運営委員会	2
運営幹事会	2
広報研修委員会	4
技術開発委員会	7
規格調査委員会	4
維持管理委員会	15
資格制度委員会	4
資格審査委員会	2
資格試験委員会	1
計	41